

問い合わせ先

第二管区海上保安本部 海洋情報部

海洋調査課長 森 弘和

電話 022-363-0111(内線2530)



平成26年5月22日

第二管区海上保安本部

午前10時発表

大槌港を測量船「天洋」により測量します

大槌港全体の水深測量を実施します。

「ひょっこりひょうたん島」のモデルとも言われている蓬萊島の周辺の水深も明らかになります。

第二管区海上保安本部では、被災した港湾の早期復旧のため計画的に水深測量を行っています。

今回は5月24日から6月5日まで測量船「天洋」(船長西村浩一)により、大槌港の水深測量を実施します。

今回の水深測量で「ひょっこりひょうたん島」のモデルとも言われている蓬萊島の周辺も実施します。これらの水深測量により蓬萊島周辺をはじめ、大槌港全体の最新データを取得し海図の最新維持を行います。

水深測量実施予定区域図

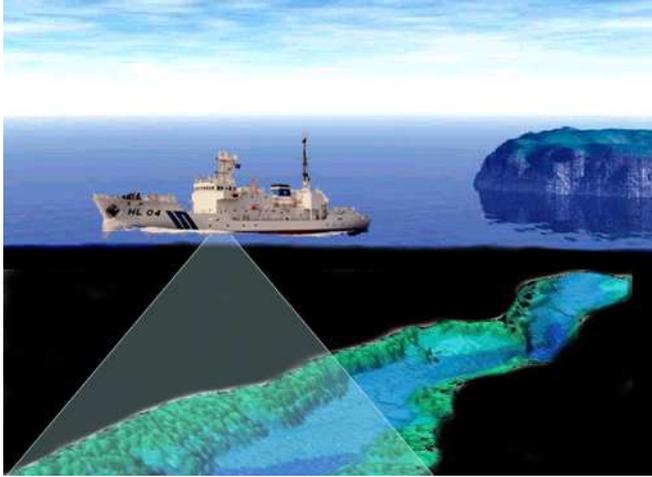


測量船「天洋」の概要

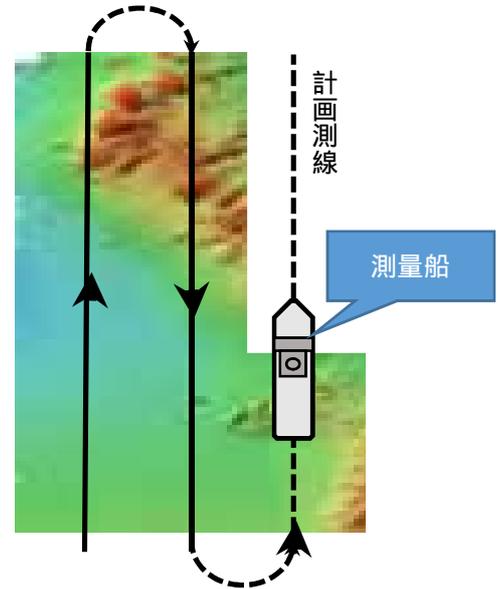


- ・総トン数 430 トン
- ・主要寸法 56.0×9.8×5.0m
(全長×巾×深さ)
- ・速力 約 13 ノット
- ・主要観測機器 マルチビーム測深機
投下式水深水温計
超音波流速計

水深測量の概要



マルチビーム測深機による水深測量



測量船から海底に向けて広角に音波を出し、音波の往復時間と水中での音の速度から水深を計測します。

船の航跡に沿って水深の約3倍以上の幅で海底地形を明らかにすることができます。測量船は、雑巾掛けをするように計画した測線を往復します。

下記の図の黒い実線は、今回の水路測量の計画した測線で、水深により間隔を変えて測量しています。

大槌港 計画測線図

